

第五次多摩市総合計画第2期基本計画改定に係る 市民団体アンケート結果

平成26年9月
多摩市



《目次》

第1章 市民団体アンケートについて	1
1 調査の背景、目的	1
2 調査の概要	2
第2章 調査の結果	3
1 全体概要	3
2 政策分野別の意見	5

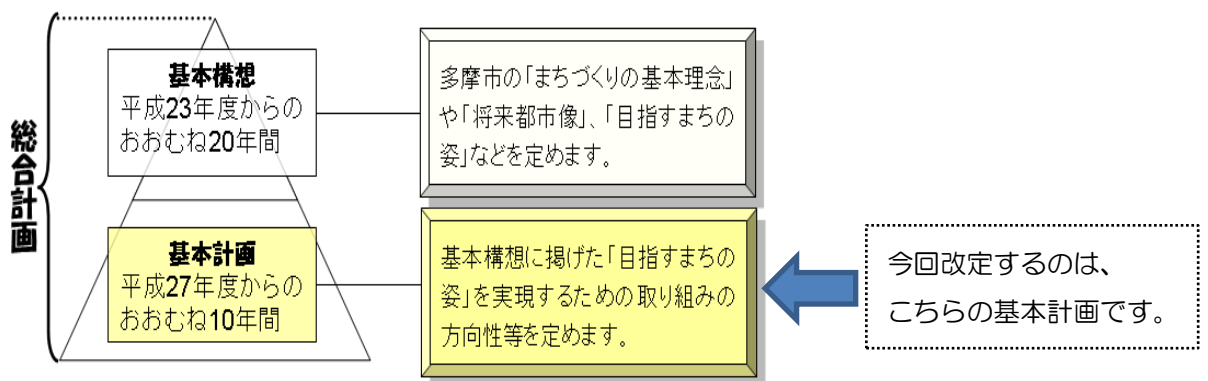
第1章 市民団体アンケートについて

1 調査の背景、目的

(1) 背景

- 多摩市では、平成27年度から第五次多摩市総合計画第2期基本計画※の改定に向けて検討を進めています。
- 計画の改定にあたっては、多摩市自治基本条例第24条（計画策定等への参画）の規定に基づき、多摩市総合計画審議会やワークショップの実施など、多くの市民の皆さんから意見を伺っています。
- この「市民団体アンケート」も、総合計画の改定に伴う市民参画の一つとして実施しました。
- 今年度は、多摩市の最高規範である多摩市自治基本条例の制定から10年目を迎える年です。条例の理念である市民参画、市民協働、情報共有など、これまでの成果を踏まえ、更に市民が主体となったまちづくり、自治の実現を基本として改定を行っていきます。

※ 総合計画…多摩市の様々な行政計画の中で最上位に位置づけられる計画であり、「多摩市のまちの将来設計図」です。基本構想と基本計画の2層で構成されています。そのうち、基本計画は、計画の実行性を確保するため、4年ごとに選出される市長の公約も踏まえ、4年ごとに10年間の計画として改定していきます。



(2) 目的

- まちづくりの担い手として、「共助」の部分を担当している市民団体（地域団体）から、まちづくりにおける今後の取り組みや課題等を伺うことにより、広く市民団体の意見を計画に反映させることを目的として実施しました。
- この「市民団体アンケート」でいただいた意見等は、第五次多摩市総合計画・第2基本計画を改定する際の貴重なご意見とさせていただきます。

2 調査の概要

(1) 対象	<p>市内または地域で公共・公益的な活動を行う団体（計 267 団体）</p> <p>① NPO 法人・任意団体等（44 団体） ※「平成24年度 協働指定委託事業」の受託団体、又は「多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿」に掲載されている団体</p> <p>② 自治会・管理組合（200 団体）</p> <p>③ コミュニティセンター運営協議会（8 団体）</p> <p>④ 青少年問題協議会地区委員会（15 団体）</p>										
(2) 実施方法	アンケート調査票を郵送で配付し、同封の返信用封筒で回答いただきました。										
(3) 内容	<p>① 団体の属性（名称、目的、構成人数）、現在の活動内容について</p> <p>② まちづくりにおける地域課題について</p> <p>③ 上記の課題の解決に向けた取り組みについて</p> <p>④ 多摩市のまちづくり全般に関する自由意見</p>										
(4) 期間	平成 26 年 6 月 25 日（水曜）から 7 月 8 日（火曜）まで										
(5) 回答数	83 団体（回答率 31.1%）										
(6) 回答団体	<p>アンケートの回答団体は、「自治会・管理組合」（50 団体）が最も多く、次いで「NPO 法人・任意団体等」（18 団体）、「青少年問題協議会地区委員会（10 団体）」、「コミュニティセンター運営協議会（5 団体）」となっています。</p> <p>【主な活動内容】</p> <table border="1" data-bbox="491 1106 1423 1998"> <thead> <tr> <th data-bbox="491 1106 815 1155">団体の種類</th> <th data-bbox="815 1106 1423 1155">主な活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="491 1155 815 1397">自治会・管理組合 （50 団体）</td> <td data-bbox="815 1155 1423 1397"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事の開催 ・ 防犯、防災（パトロール、訓練など） ・ 啓発（あいさつ運動など） ・ 地域の清掃・環境美化、資源ゴミ回収 ・ 施設の維持管理（管理組合） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1397 815 1715">NPO 法人・任意団体等 （18 団体）</td> <td data-bbox="815 1397 1423 1715"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者、障がい者支援 ・ 交流・体験行事の開催 ・ スポーツ振興 ・ 果樹・植栽管理 ・ 各種調査研究 ・ フィルムコミッション ・ シティセールス </td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1715 815 1906">青少年問題協議会 （10 団体）</td> <td data-bbox="815 1715 1423 1906"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事の開催 ・ 防犯、防災（パトロール、訓練など） ・ 啓発（あいさつ運動など） ・ 地域の清掃・環境美化 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1906 815 1998">コミュニティセンター 運営協議会（5 団体）</td> <td data-bbox="815 1906 1423 1998"> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミセンの管理運営 ・ 親睦・地域行事の開催 </td> </tr> </tbody> </table>	団体の種類	主な活動内容	自治会・管理組合 （50 団体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事の開催 ・ 防犯、防災（パトロール、訓練など） ・ 啓発（あいさつ運動など） ・ 地域の清掃・環境美化、資源ゴミ回収 ・ 施設の維持管理（管理組合） 	NPO 法人・任意団体等 （18 団体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者、障がい者支援 ・ 交流・体験行事の開催 ・ スポーツ振興 ・ 果樹・植栽管理 ・ 各種調査研究 ・ フィルムコミッション ・ シティセールス 	青少年問題協議会 （10 団体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事の開催 ・ 防犯、防災（パトロール、訓練など） ・ 啓発（あいさつ運動など） ・ 地域の清掃・環境美化 	コミュニティセンター 運営協議会（5 団体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミセンの管理運営 ・ 親睦・地域行事の開催
団体の種類	主な活動内容										
自治会・管理組合 （50 団体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事の開催 ・ 防犯、防災（パトロール、訓練など） ・ 啓発（あいさつ運動など） ・ 地域の清掃・環境美化、資源ゴミ回収 ・ 施設の維持管理（管理組合） 										
NPO 法人・任意団体等 （18 団体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者、障がい者支援 ・ 交流・体験行事の開催 ・ スポーツ振興 ・ 果樹・植栽管理 ・ 各種調査研究 ・ フィルムコミッション ・ シティセールス 										
青少年問題協議会 （10 団体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事の開催 ・ 防犯、防災（パトロール、訓練など） ・ 啓発（あいさつ運動など） ・ 地域の清掃・環境美化 										
コミュニティセンター 運営協議会（5 団体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミセンの管理運営 ・ 親睦・地域行事の開催 										

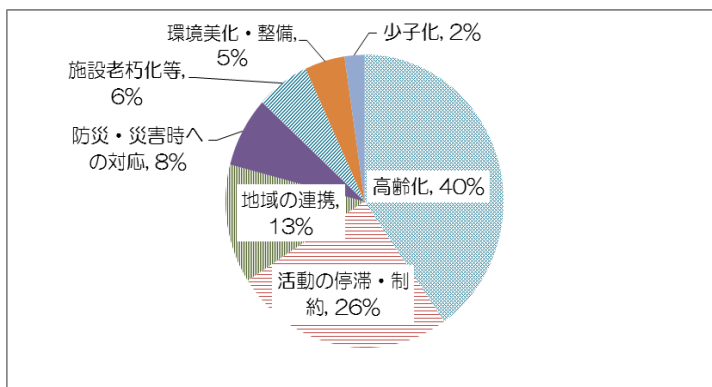
第2章 調査の結果

1 全体概要

(1) 活動を通じて認識している地域の課題について

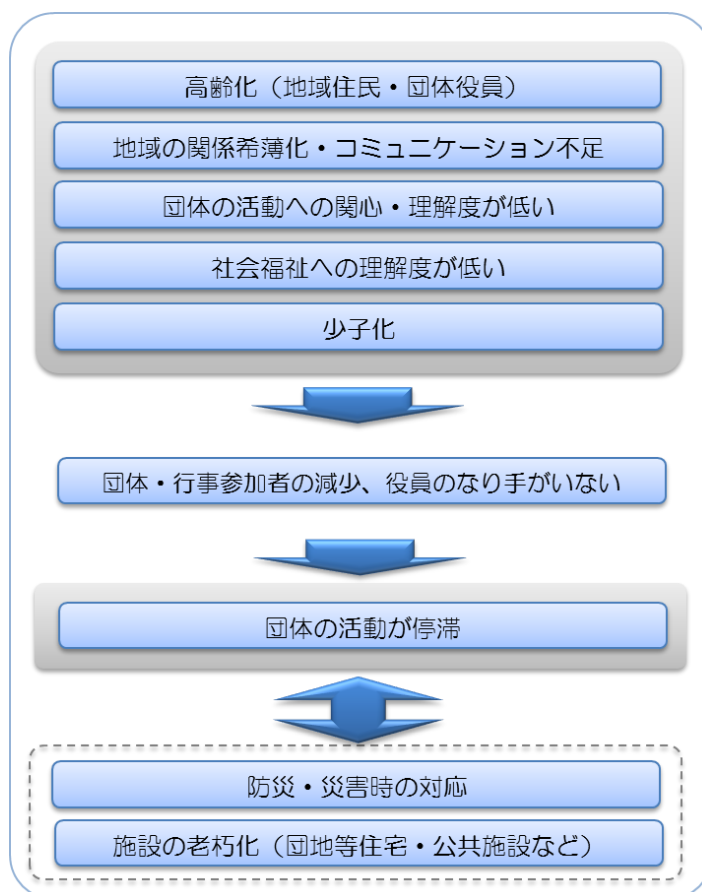
自由記入による回答内容を類似意見ごとに分類すると、下表のとおりとなりました。「高齢化」という回答が最も多く、次いで「活動の停滞・制約」、「地域の連携」、「防災・災害時の対応」、「施設の老朽化」となっています。

課題の概要	回答件数
高齢化	52
活動の停滞・制約	33
地域の連携	17
防災・災害時への対応	10
施設老朽化等	8
環境美化・整備	6
少子化	3



これらの地域における課題を整理すると、下表のとおりとなります。「高齢化（地域住民・団体役員）」、「地域の関係希薄化・コミュニケーション不足」、「団体の活動への関心・理解度が低い」、「少子化」などの原因から、「団体・行事参加者の減少、役員の成り手がいない」状況となり、ひいては、「団体の活動が停滞」しているものと思われます。その中で、「防災・災害時の対応」や「施設の老朽化（団地等の住宅・公共施設など）」などの課題に直面しています。

【まちづくりにおける課題】



(2) 課題解決に向けた取り組みについて

これらの課題解決に向けた取り組みとして、「親睦機会の拡大」、「若い世代への継承、担い手の育成」、「地域・行政との連携強化」、「防災体制の拡充」などの意見が多くみられました。

このような中で、市は、市民団体と適切に役割分担しながら、「市民活動への多面的な支援」、「市民の交流機会の拡充」、「市と地域・市民との間での意見交換・情報共有」などの取り組みについて、これまで以上に努めていく必要があります。

【課題解決に向けた取り組み】

地域特性を踏まえた親睦機会の拡大

広報による理解促進・参加の呼びかけ

活動内容見直し・役員の負担軽減

高齢者・要援護者の把握と見守り

地域団体相互間の連携の強化

地域住民への共助意識向上の啓発

若い世代への継承・担い手の育成

行政との意見交換・連携の強化

防災体制の拡充

施設の建替え・修繕計画の具体化

【市民団体の役割】

- ・地域住民相互の親睦強化
- ・共助の理解の促進
- ・地域への情報発信強化・啓発
- ・住民目線での地域課題の整理・意見の取りまとめ

【市に期待すること】

- ・活動しやすい体制づくりと多面的支援
(活動拠点・資金・人材面など)
- ・高齢者・福祉対策
(交流機会・活動の場など)
- ・地域との意見交換の機会の拡充・情報提供強化
- ・市民や他団体との連携を図る上での橋渡し役

～ アンケート結果を踏まえた「協働」の方向性 ～

- ・市は市民の主体的な活動の多面的な支援に努める
(高齢者・福祉対策など制度面を含む)
- ・市と市民は市民の交流機会の拡充に努める
- ・市と市民は意見交換・情報共有に努める

2 政策分野別の意見

市民団体からいただいた主な意見を、本市の6つの「目指すまちの姿」に基づき、下表のとおり分類しました。

(1) 目指すまちの姿① 子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち

【キーワード：子育て、子育て、学校、教育】

政策	まちづくりにおける課題	課題解決に向けた取組み	
A1 子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり	・少子化	自治会・管理組合	・子ども会活動の支援
A2 人と学びを未来につなぐまちづくり	・青少協の保護者への認知度が低い ・子ども会、青少協の活動への参加が減少 ・家庭の教育力の低下	青少協	・親子で参加できるイベントの実施 ・子ども会、他地区の委員会、自治会等との連携（児童館主催のお祭りに一緒に出店など） ・顔の見える見守り活動（学校門であいさつ活動など） ・幅広く広報し、楽しい体験の場を増やす。 ・学校周辺の清掃など
		行政に期待すること	・青少年委員やスポーツ推進委員などの事業で、専門的な指導の機会を設けること ・学校周辺の清掃などで市と連携 ・行政が主体となる研修などを行ってほしい。

(2) 目指すまちの姿② みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち

【キーワード：健康、医療、福祉】

政策	まちづくりにおける課題	課題解決に向けた取組み	
B1 生涯にわたって健やかでいきいきと暮らせるまちづくり	・高齢化社会における生活、健康対策 ・健康なシニアがあふれる仕組み作り	自治会・管理組合	・シニア向けの食育・健康に関する講座
		NPO等	・シニア向けのメディカルチェック ・多摩市医師会と連携して健康体力測定の実施
B3 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり	・一人暮らし高齢者の増加 ・高齢者の引きこもり ・高齢化による運営負担の増大、活動の停滞化	自治会・管理組合	・見守りネットワークの創設 ・自治会、自主防災組織による高齢者の見守り ・高齢、一人暮らし、認知症、引きこもりがちな人の早期発見とケア ・高齢者のサロン開設、参加者を増やすための取組み ・清掃等で住民交流機会をつくる。 ・シニア会、親睦会等の充実 ・「お助け隊」のような支援組織作り。その前提として興味を持ってもらえるような講習会等の企画 ・地域包括支援センターとの協力 ・緊急通報システムの検討

B3 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者の増加 高齢者の引きこもり 高齢化による運営負担の増大、活動の停滞化 	コミセン 運営協議 会	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者向けの講習会、集いを企画 高齢者の見守りを具体化すべく、地域関連団体と連携強化、仕組み作り
		NPO等	<ul style="list-style-type: none"> 老人会や地域包括支援センターなど、行政・民間を問わず、様々な機関・団体とのネットワーク推進
		行政に期待 すること	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が交流する機会、場の提供 資金面での支援 担い手の育成 独居世帯が増加するため、行政による確認を望む。 高齢化に伴う総合ネットワークの構築 高齢化相談支援センターの開設 高齢化と施設老朽化を迎える中での選択肢のアドバイス 高齢者が自ら選択できる施設の充実と環境のレベルアップが必要。管理組合での整備は限界がある。 「聞こえと補聴器の相談会」を市と協働で実施できないか。
B4 障がい者が安心して暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 高齢の障がい者への対応 障がい、社会福祉への理解度が低い 障がい者作業への工賃アップ 就労機会不足への不安 	NPO等	<ul style="list-style-type: none"> メンバーだけでなく、悩み、孤立化している精神障害者とその家族の相談に乗って支援。 地域の障がい者支援センターの設立に取り組みたい。 障害者の美術作品展等のイベントの実施 生活支援サービスの担い手育成 一般就労へのステップアップの支援をしたい。
		行政に期待 すること	<ul style="list-style-type: none"> 手話言語条例の制定 聴覚障害者のために音声情報だけでなく、見てわかる表示を増やして欲しい。 「働く」は一般就労か福祉的な就労の2種に分かれるが、中間の「働く」仕組みを作ってほしい。 現在、市から受託している作業を、掃除・簡単な事務・調理などに拡大できると良い。

(3) 目指すまちの姿③ みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち

【キーワード：市民活動、コミュニティ、生涯学習、文化】

政策	まちづくりにおける課題	課題解決に向けた取り組み	
C1 地域で支え合い、暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の減少 地域の連携やネットワーク不足 ニュータウン住民のコミュニケーション不足 	自治会・ 管理組合	<ul style="list-style-type: none"> 役員の負担軽減、世代交代 役員持回り制の変更または辞退制度、役員報酬の設定 若い世代への自治会参加の呼びかけ 住民同士のきめ細かい話し合いの場の設定 住民相互の親睦を図り、顔見知り化、情報交換 団地集会所をコミュニティ活動のために開放

C1 地域で支え合い、暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の減少 地域の連携やネットワーク不足 ニュータウン住民のコミュニケーション不足 	自治会・管理組合	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア組織を立ち上げて活動 班内での会合、会食 サークル活動などコミュニケーションの機会を増やす。 自治会行事の見直し 新しい住人が増えたら趣旨を説明し、会員になってもらい組織率を上げる。
		コミセン運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の出会いの場、ふれあいの場となるイベントの企画、運営 特別なイベントがなくても気軽に立ち寄れる場所になるよう工夫したい。 館内美化、安全管理による環境づくり 地域市民への情報発信力の強化 広報誌を家庭や学校に配布し案内、会員募集 インターネットやブログなどを活用した広報の検討 自治会や児童館と連携して、地域住民の交流を図る。 ボランティア活動者同士の交流促進 地域市民の意見を広く収集できる仕組み作り
		青少協	<ul style="list-style-type: none"> 青少協行事の運営経験や地域活動への参加経験を通じて、理解を深めてもらう。 子どもたちの地域活動への参加機会を設けることで、地域の担い手として育てることに寄与する。 親子で参加する単発行事はニーズがあるため、機会を大事にする。 小学校高学年、中高生が活躍できる機会を作る。 一緒に楽しく活動してくれる若い方も募集し、活動・行事などを実施する。
		NPO等	<ul style="list-style-type: none"> サポーターの養成（シニア層の活用など） 子ども達を含む地域住民との連携を目指した活動をする。 団塊の世代の人々を取り込める活動をする。 ネットワーク作りのための組織を作る。
		行政に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の支援（予算面、活動費のアップ） 各種行事への補助金支給とその増額 広報への援助としてカラーコピー機の無料開放など イベント等への講師の派遣や情報提供など 行政主導による、関係団体との協力（自治会、青少協共催のイベントを開催する後押しなど） 活動拠点の整備に力を入れてほしい。 施設の充実、使用料を安くしてほしい。

C1 地域で支え合い、暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の減少 地域の連携やネットワーク不足 ニュータウン住民のコミュニケーション不足 		<ul style="list-style-type: none"> 意識を高める上で、防災・高齢化等の講演会などの催しをしていただけるとありがたい。 ニュータウン再生に向けて、市全体でシニアの皆さんがさらに活躍できるシステムを考えてほしい。 責任感とボランティア的なやる気を融合した仕組みを考えてほしい。 コミュニティセンターの管理は切り離し、事業展開の推進のみ行うのなら高齢化しても続けられる。 認知度を高めるため、「青少年問題協議会」の名前を親しみやすいネーミングに変更する。 市職員が、地域を支えるリーダー的な人材として、公共を担う役割を認識して行動する。 多摩市市民清掃デーなど老若男女が一緒に参加できるイベントを考える。 市が提案する「健幸都市」実現に向けた具体的な活動として、「さわやかあいさつ運動」を展開していくと良い。町内ではかなり浸透している。 回覧の改善：高齢や体が不自由など回覧板を届けることもできない人も多く、個別に文書を渡す必要もあるため、回覧用の文書を増やすなどしてほしい。 運動会を多摩市主催にして活動団体を募集、実行委員が運動会を運営する。 現在、市とコミセン運営協議会とで管理運営のあり方協議会を開催するなど、課題の共通認識と解決のための話し合いの場を設けている。
C2 豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 外国人のサポート体制（情報不足） 	NPO等 行政に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ多くの公共施設に機関紙を置く 会員と外国人が交流できる場を多く提供する。 行政から外国人に情報を伝達する機会を多く持つてほしい。

(4) 目指すまちの姿④ 働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち

【キーワード：産業振興、雇用、観光】

政策	まちづくりにおける課題	課題解決に向けた取り組み	
D1 人々が集い、働く、活気と魅力あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設のロケ地としての活用 	NPO等	<ul style="list-style-type: none"> UR、都市開発センター等とのコンタクトを強め、ロケ地を開拓する。 公共施設のロケ地としての提供条件を確認し、ロケ受け入れの容易な環境を作る。

(5) 目指すまちの姿⑥ いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち

【キーワード：都市づくり、住宅、防災、交通】

政策	まちづくりにおける課題	課題解決に向けた取り組み	
E1 安全・安心のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の役割が不明確 ・災害時の要援護者などの情報把握が困難（個人情報保護の観点による） ・大規模地震被災時の初期対応（安否確認、高齢者・弱者の救護、消火活動） ・交通事故防止対策 	自治会・管理組合	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時基本行動マニュアルを定め、災害発生時は、自主防災組織災害対策本部を設置し必要な行動を行う。 ・高齢者、独居者の連絡先リストの作成 ・災害は何時発生するかわからないことから、自主防災会への加入を勧める。 ・発災時に自助が困難な組合員のため、要援助対応情報の内容の見直しと再調査を行う。 ・避難困難者に対する具体的な支援体制作り ・大学と連携し、緊急対応要員として協力してもらえる仕組みを構築したい（初期消火・避難支援など）。 ・隣接する大学の学生が帰宅困難な場合には町会で受け入れるなど、ギブアンドテイクの関係を築く。 ・防災マップの配布 ・近隣団地の管理組合と問題点を共有化し、対策を具体化したい。 ・防災訓練の定期的な実施（住民の交流に繋がる。） ・備蓄品の充実と点検、備品の拡充に努める。 ・交通事故防止対策の要望書を提出する。
		青少協	<ul style="list-style-type: none"> ・親にも協力を呼びかけ、みんなで子ども・地域を守っていく。
		NPO等	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人への防災に関する情報伝達に力を入れる。
		行政に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・行政で消防団員を募集する。 ・隣接する大学等との連携などの橋渡し役 ・居住者の把握など個人情報に係る部分の対応。地域団体では強制はできない。 ・意見交換会の開催 ・発災時の水・食料などのライフライン確保の観点で、行政から提供されるものが何かなど、具体的な情報提供 ・防災活動における備蓄品購入補助の充実

E2 安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・団地等住宅、公共施設の老朽化 ・空き家の増加 ・近隣センターの衰退 ・南多摩尾根幹線道路の整備問題 	自治会・管理組合	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な修繕計画の策定など ・行政機関との情報、意見交換 ・敷地内のバリアフリー化 ・沿線住民として南多摩尾根幹線道路の整備に関する要望も検討したい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴うバリアフリー化、住み替え ・高齢者が安心して外出できる環境整備 	NPO等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉交通について情報収集、提供 ・省エネ化に向けた普及活動 ・団地の空き住戸の研究 ・コーポラティブ住宅の建設 ・近隣センターの有効活用の検討 ・管理組合との連携による団地の維持管理・環境整備の支援 ・移動に対する困りごとの解決
		行政に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・(再掲) 高齢化と施設老朽化を迎える中での選択肢のアドバイス ・廃校跡地などの高齢者対策の拠点としての活用 ・積極的な情報提供、現地調査、意見聴取 ・住み替え支援による子育てしやすい環境づくり(UR や東京都、市民団体等との連携) ・駐車スペースの拡大・公共交通の整備 ・都営住宅の入居者に偏りがないようにバランスを考えてほしい。 ・「移動」を交通の問題として捉えるのではなく、生活支援の要素として考えること ・「移動」について利用者・行政・担い手団体などとともに考える場の提供 ・南多摩尾根幹線道路整備に関して、地元側計画案の作成を支援し、地域住民の立場に立ち、一体となって東京都などに働きかける。 ・「空き家等適正管理に関する条例」の制定に向けた取り組み

(6) 目指すまちの姿⑥ 人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち

【キーワード：環境】

政策	まちづくりにおける課題	課題解決に向けた取り組み	
F1 地球と人にやさしい持続可能なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・美化、植栽管理等が行き届かない。 ・樹木の生育（防犯・日照に影響） 	自治会・管理組合	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の公園、道路の清掃 ・高木剪定を業者委託 ・生垣剪定作業が困難な組合員に対して、ブロック内で助け合う。
		NPO等	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のアダプト制度で、多摩市の緑の一定部分が市民の力によって維持管理されている。 ・果樹の育成を通してコミュニケーションの活性化（果樹に看板を設けるなど） ・地域住民の抱える問題意識や要望をくみ取り、対応策を探り、具体的な事業化に向けて取り組む。 ・独自でシンポジウムの開催
		行政に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・アダプトの考えを拡大し、子育て、子どもと高齢者の見守り、居場所づくりなどを様々な分野を、市民に任せられる仕組みが必要である。市にはノウハウの提供、祖父手面でのサポート、場所の提供、機材の貸与、最低限の費用援助など活動のサポートを担って欲しい。 ・市で保有する樹木の伐採を組合で実施することへの補助 ・地域の景観のための植栽対応の補助の充実 ・行政が持つ専門性と人的資源力の効果的な発揮 ・多摩市主催で農家以外の家庭・学校・保育園・公園等で育成した生産物の品評会の実施